株式会社システムコンサルタント
System Consultant Co., Ltd.

SDGS REPORT 2026

SYSTEM CONSULTANT
Make the future with software

AGENDA

Editing Policy … 3

Top Message … 4

ESG/SDGsについて … 5

重要課題とSDGsへの貢献 … 6
- ①ICTによる社会課題の解決 … 8
- ②自然環境の保全 … 13
- ③成長をけん引する人材育成 … 17
- ④魅力ある職場の実現 … 22

生成AIの活用とガバナンス … 25

EDITING POLICY

報告対象期間

当社の58期(2025 年 8 月 1 日～2026 年 7 月 31 日)の取り組みを中心に、また一部将来の取り組み予定について記載しています。

発行年月

2026年 9月

お問い合わせ

〒130-0013 東京都墨田区錦糸 2-14-6
(株)システムコンサルタント　コーポレート事業部

TOP MESSAGE

持続可能な社会に貢献する企業へ

代表取締役社長
田代 憲之

株式会社システムコンサルタントは持続可能な未来を築くために、国際連合が掲げる持続可能な開発目標（SDGs）に真摯に取り組んでいます。具体的には、

①生成AIを活用したICTによる社会課題の解決
②自然環境の保全
③成長をけん引する人材育成
④魅力ある職場の実現

といった4つの取り組みを通じて、社会に貢献してまいります。

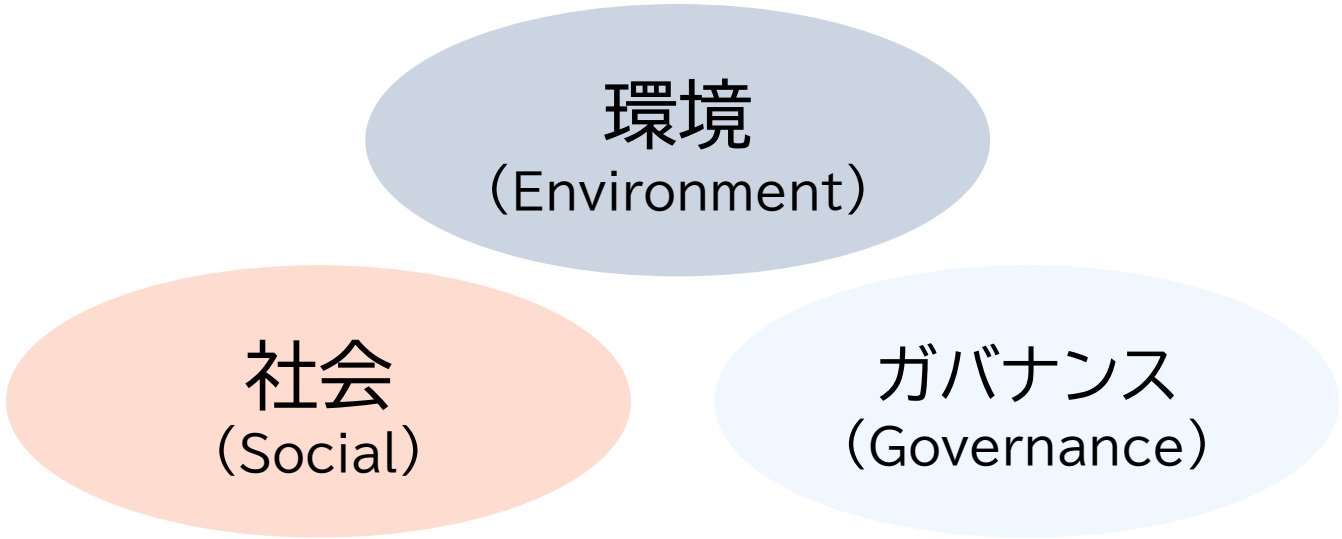
また当社は2030年までに達成すべきゴールを定めております。2025年7月の中間目標値は上記4つの取組についてすべて目標を達成し、58期は最終ゴールに向けた取り組みを着実に進めてまいりました。

今後もSDGsを通じて未来の世代に対する責任を果たし、持続可能な変革がもたらす希望に満ちた未来を築くため、2030年のゴールを目指して活動していく所存です。

ESG/SDGS

活動について

株式会社システムコンサルタントは、
「お客様の業務変革に貢献できる高品質な ITサービスと製品の提供」
という事業活動を通じて、



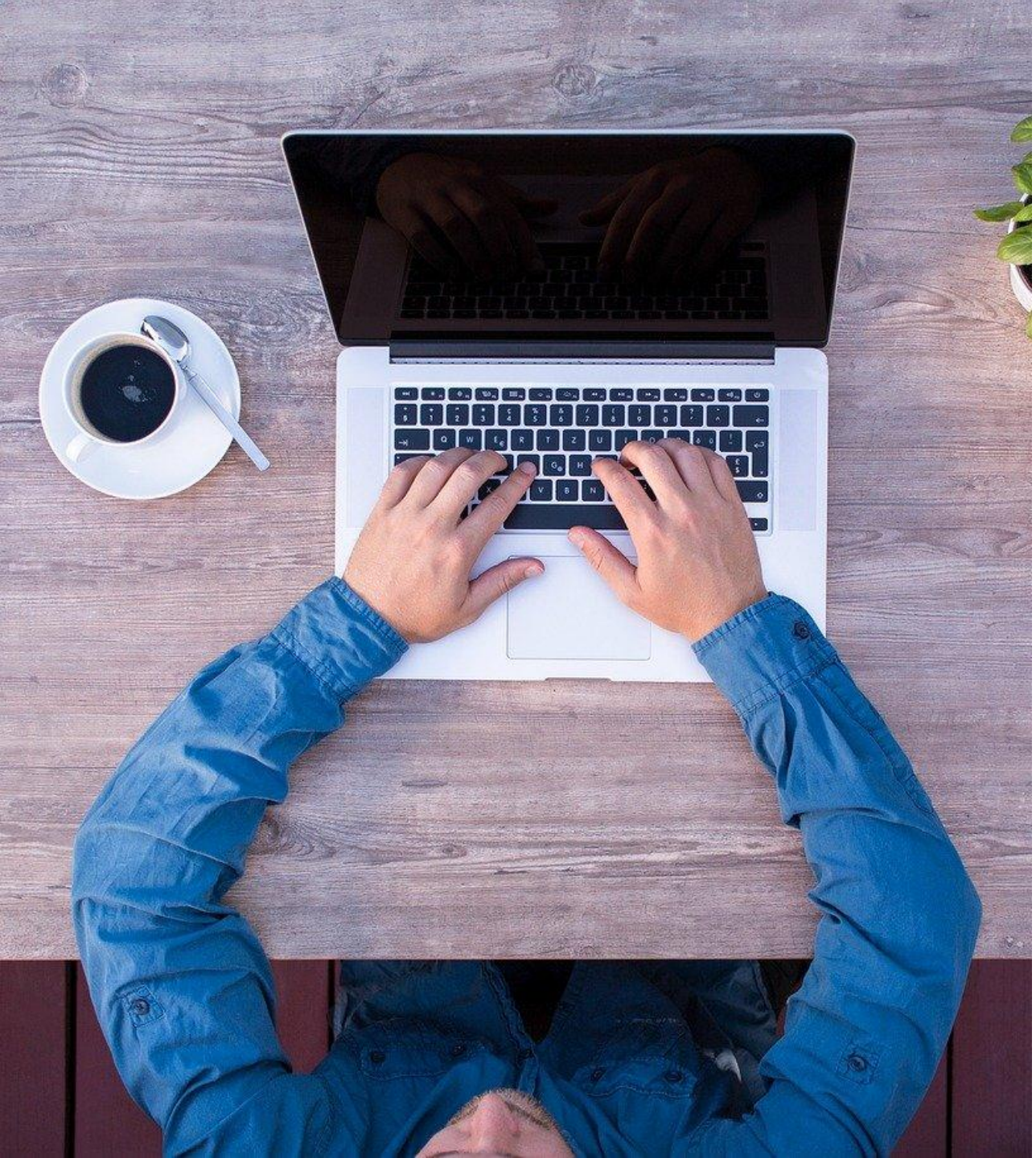
からなる3つのESGの観点で、持続可能な社会の実現と長期的な企業の成長を目指し、4つの経営上の重要課題を定めました。

財務面を含む持続可能な成長を確実なものとするため関連会社と共に対処・挑戦することで、重要課題の解決に取り組んでいます。

重要課題と SDGSへの貢献

システムコンサルタントの重要課題への取り組みは、関連するSDGsの達成にも貢献するものとなります。

企業に期待される役割と責務を認識し、課題の解決に積極的に取り組んでいます。



①生成AIを活用したICTによる社会課題の解決

①生成AIを活用したICTによる社会課題の解決

生成AIを活用したICTで、新しい産業の創出（様々な産業を担う企業との連携による新しい事業や産業の創出）に取り組みます。

◆お客さまのDX推進支援
最新のテクノロジーを活用した価値あるソリューション・サービスを提供します。

◆システムコンサルタント社内業務のDX化
企業活動全体のデジタル化による業務効率と生産性の向上を図ります。

◆提供するITサービスと製品の品質向上
継続的改善による品質管理の強化、および顧客満足度の向上に努めます。

◆コンプライアンス遵守・内部統制の強化
法令、社内規範、社会規範、企業倫理の遵守と内部統制の強化および社内の啓蒙活動や教育の充実を図ります。

◆情報セキュリティ・個人情報保護対策の実践
継続的改善による情報管理・個人情報保護の強化および社内の啓蒙活動や教育・訓練の充実を図ります。

◆事業継続計画の整備
DRP/BCP等の整備とその継続的改善による防災意識と事業継続計画の実効性向上に努めます。

①生成AIを活用したICTによる社会課題の解決

◆2025年8月～2026年7月の活動報告

項目	実績
お客さまのDX推進支援	90件
社内業務のDX化	16件
お客さまの海外拠点・海外法人向けICT化推進支援	49件
提供するITサービスと製品の品質向上	69件
情報セキュリティ・個人情報保護対策の実践	5件
事業継続計画の整備	12件
安心・安全なサプライチェーンの構築・維持	20件

①生成AIを活用したICTによる社会課題の解決

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

◆2025年8月～2026年7月の主な取り組み

・AI関連案件が増加し、AIを軸とした新たな開発プロセスの立ち上げを推進

・AIのグループ利用（AIナレッジ基盤の構築）の推進

・全社の資産管理システムの運用を開始

・AIツールの利用状況の可視化

・請求書申請を補助するツールの開発による申請漏れ・ミスの防止

・請求書発行の電子化により、受領書・控えなどの帳票を廃止

・社内申請フローの整理とワークフロー活用による業務効率化

・AIと自動化の活用により、対象業務の工数を約70%削減

・お客さまのサポートセンター評価アンケートで94.3点を獲得

・Web問い合わせの質向上に向けた検索キーワードの見直しを継続

①生成AIを活用したICTによる社会課題の解決

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

◆2025年8月～2026年7月の主な取り組み

・関係機関への報告が必要な事件事故：0件

・情報管理・個人情報保護に関する文書類の改訂：10回

・情報管理・個人情報保護研修の実施：3回

・標的型攻撃メール対策訓練の実施：2回（フォローアップ研修を含む）

・外部・内部からの改善要望に基づく情報漏えい対策の実施：5件

・全社共通サービス周辺環境のクラウド移行・環境整備と監視の継続

・ネットワーク機器の更改、ログインの多要素認証化を実施

・全社共通サービスのDR訓練実施（毎月）：12回

・全社共通委託先審査（年1回）の実施

・就業規則などの社内規則の周知と順守、行動規範の徹底

①生成AIを活用したICTによる社会課題の解決

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

◆その他、生成AIに関する主な取り組み

・全社共通の生成AI利用ガイドラインを整備し、利用ルールの明確化に着手

・入力してよい情報の範囲と、出力物の取り扱い手順を明示

・生成AIの利用状況を可視化し、コストと効果を継続的に確認していく取組を開始

・AIを軸とした新たな開発プロセスの立ち上げを推進

・AIのグループ利用（AIナレッジ基盤の構築）による知見の共有

・部門横断でのAIハッカソン、AIプログラムコンテストの実施

・コーディング支援ツールの活用勉強会を保守系中心に実施

・営業活動における提案書作成支援へのAI活用

・バックオフィス業務の効率化により、新たな挑戦に充てる時間を確保

②自然環境の保全

7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに
12 つくる責任 つかう責任
13 気候変動に 具体的な対策を
15 陸の豊かさも 守ろう

②自然環境の保全

気候変動対策としてCO2抑制に向けた再生可能エネルギーの活用やICTによる省エネルギー促進を行います。

◆企業活動を通じた気候変動への貢献

節電対策の徹底および省エネ基準達成製品の購入に努めます。

◆循環型社会の推進

既存文書のデジタル化を推進や、廃棄分別の徹底による
リサイクル率の向上および計画的なIT機器や什器備品の
資産管理と適正化を実現します。

②自然環境の保全

◆2025年8月～2026年7月の活動報告

項目	実績
電力使用の効率化　電気使用量 前年比	10%削減
ペーパーレス化の推進　印刷枚数 前年比	19%削減
廃棄物の削減　リサイクル取組数	1件

②自然環境の保全

◆2025年8月～2026年7月の主な取り組み

・冷暖房運転時の過度な温度設定を避け、電力消費を抑制

・エレベーターの減速運転を継続

・空室時の会議室空調の停止、夜間の部分消灯を徹底

・法令で紙保存が必要な書類以外の電子保存を推進

・請求書の発行管理を電子化し、電子での保存を実現

・社内申請フローの整理とワークフロー活用によるペーパーレス化の推進

・会議体での紙資料の配布を原則廃止

・分別の徹底による資源の有効活用と、不要書類の裁断（再利用）廃棄

③成長をけん引する人材育成

③成長をけん引する人材育成

社員成長、キャリア実現の支援に向けて、社員一人ひとりが変化を楽しみながら挑戦と成長を続け、新規ビジネス創出のキーマンとなる組織の構築を推進します。

◆社員成長、キャリア実現の支援
職域・階層別ビジネス研修の継続・拡大とその内容の充実およびキャリアコミュニケーション実施などキャリア実現に向けた支援を推進します。

◆高度IT人材拡大
技術研修、技術交流会の継続・拡大とその内容の充実、および社内研究開発(R&D)への積極的な支援を図ります。

◆インド開発センターの有効活用

実務実践的グローバル人材育成研修の継続・拡大とその内容の充実を図ります。

③成長をけん引する人材育成

◆2025年8月～2026年7月の活動報告

項目	実績
社員成長、キャリア実現の支援	52件
高度IT人材拡大　研修・技術交流会	48件
インド開発センターの有効活用	2件
新入社員研修　対象者数	26名

③成長をけん引する人材育成

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

◆2025年8月～2026年7月の主な取り組み

・チームリーダー以上を対象とした組織活性化ミーティングの継続

・AIハッカソン、AIプログラムコンテストの実施

・コーディング支援ツールの活用勉強会を保守系中心に実施

・若手社員が最新技術に触れる機会の提供と定期面談による支援

・職域拡大のため、中堅以下の開発メンバーが1回以上営業に同行

・若手社員による部門内の業務改善ツールの開発

・プレゼン力・コミュニケーション力向上のための発表会を開催

・データベース関連の研修を計45回実施

・社内講師の育成を進め、講師を3倍に拡大

・改善思考ドリルダウン研修、課長／主席技師研修の実施

③成長をけん引する人材育成

◆2025年8月～2026年7月の主な取り組み

・階層別研修（3年次、7年次） ※一般職も対象

・課長研修、主任研修の実施

・ドリルダウン研修の実施

・新入社員研修の実施

・新人海外研修を2班に分けて実施

・インドでの新人研修カリキュラムを見直し、研修目的を明確化

・採用担当者が新入社員と1年間を通じ定期的に面談を実施（年3回）

・若手定期面談（2～3年次）、人事異動面談（4～6年次）

④魅力ある職場の実現

3 すべての人に健康と福祉を
4 質の高い教育をみんなに
5 ジェンダー平等を実現しよう
8 働きがいも経済成長も
10 人や国の不平等をなくそう
17 パートナーシップで目標を達成しよう

④魅力ある職場の実現

社員の満足度向上とダイバーシティ＆インクルージョンを推進し、誰もが能力を発揮でき、働きがいのある環境づくりに取り組みます。

◆社員の満足度向上
社員が十分に能力を発揮するためのチャレンジ機会を提供します。

◆ダイバーシティ＆インクルージョンの推進
女性活躍、仕事と子育て・介護の両立、シニア人材活躍、障がい者の労働機会拡大を推進します。

◆ハラスメントの防止
基本方針策定と継続的改善による防止、社内外相談窓口設置やアンケートの実施、社内の啓蒙活動や教育の充実を図ります。

◆働き方改革
多様な働き方を推奨するオフィスの提供、テレワーク実施率の平準化を図ります。

◆健康経営の推進

メンタルヘルス対策や健康診断受診の促進、健康経営・健康企業宣言制度の認定取得および労働安全衛生の定期的な社内啓蒙活動や教育の充実を図ります。

④魅力ある職場の実現

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

◆2025年8月～2026年7月の主な取り組み

1. 社員の満足度向上とダイバーシティ＆インクルージョン

・若手社員が最新技術に触れる機会を設け、成長を支援

・各種フィードバック体制の充実と定期面談の実施

・チャレンジ機会の提供

・ビジネスマッチングへの参加による新たな機会の創出

・社員との計画的な面談を実施し、希望職種などについて確認

・一般事業主行動計画、女性活躍推進法、高齢者雇用安定法、育児介護休業法、障害者雇用促進法を基に下記を推進

⇒女性社員の構成比拡大、管理職への登用

⇒70歳までの就業機会の確保

⇒育児介護休業の取得率向上

⇒障害者法定雇用率の順守

④魅力ある職場の実現

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

◆2025年8月～2026年7月の主な取り組み

2. ハラスメントの防止
・ストレスチェック時の実態調査の継続

・集団分析結果の管理職向けフィードバック説明会の実施

・外部相談窓口の設置を継続、就業規則の徹底による厳格化

3. 働き方改革
・勤務形態の多様化（出社、在宅、サテライト、ワーケーション）

・半日休暇制度の定着、事情のある社員への利用要件の緩和

・会議室の増設、什器・空気清浄機の追加による環境改善

④魅力ある職場の実現

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

◆2025年8月～2026年7月の主な取り組み

4. 健康経営の推進

・健康診断受診率：98%

・衛生委員会による職場巡回と改善提案の実施：年12回

・産業医面談の実施：年12回

・臨床心理士によるカウンセリングを開始

・メンタルヘルスケアのeラーニングを配信

・「健康経営 銀の認定（健康保険組合連合会）」を更新

・休職者との定期面談、復職に向けた支援の実施

株式会社システムコンサルタント

住所　〒130-0013
東京都墨田区錦糸 2-14-6

コーポレート事業部

TEL　03-5819-5321(代表)

E-mail　sps-info@ksc.co.jp

URL　https://www.ksc.co.jp/